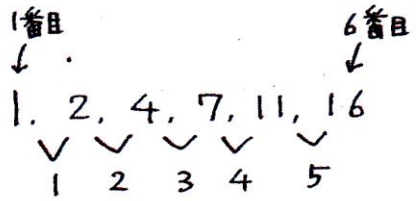
例題1

あるきまりにしたがって，下のように数をならべます。

1，2，4，7，11，16，……

左から15番目の数はいくつですか。



前の数と次の数の差が一定ではないので
等差数列ではありません。

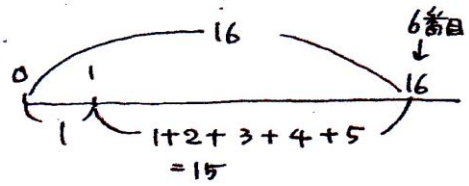
例えば，6番目の数の16は，

1＋(1＋2＋3＋4＋5)となります。

1番目の数

5個

6−1=5（間の数）



15番目の数までの間の数は

15−1=14個

したがって　1から14までの和

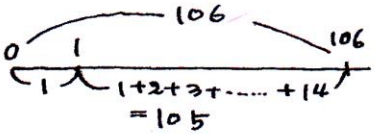
1＋(1＋2＋3＋…… ＋14)

＝1＋(1＋14)×14÷2

ガウスの計算

＝1＋105

＝106



106

（復習）
ガウスの計算

はじめの数　14個

1＋2＋3＋…… ＋14

＋)14＋13＋12＋ …… ＋1

15＋15＋15＋ …… ＋15

おわりの数

2列足しているので

（はじめの数＋おわりの数）×個数÷2

(1 ＋ 14)×14 ÷2 ＝105